環境経営レポート

対象期間　2023年4月1日～2024年3月31日
発行日　2024年　7月　1日

株式会社マツダオートザム島根大田

1 組織の概要　2 対象の範囲

事業者名及び代表者	所在地
株式会社マツダオートザム島根大田 （マツダオートザム大田　田原自動車） 代表取締役　　田原　将志	〒 694-0052 島根県大田市久手町刺鹿1910－1

事業内容

新車・中古自動車販売
自動車整備（車検・点検・修理）
損害保険の販売（自動車、火災、傷害）
生命保険の販売
自動車レンタル、リース

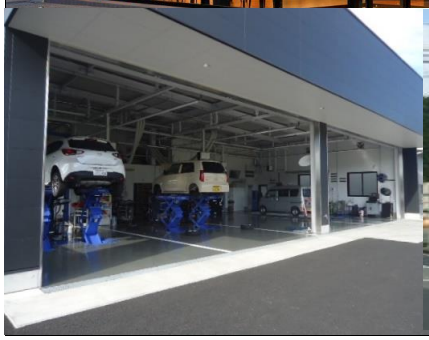
事業の規模

従業員数	10	名
社屋床面積	435.1	㎡
新車販売台数 ※	96	台
中古車販売台数 ※	104	台
年間整備入庫台数 ※	2,774	台

※は2022年度実績

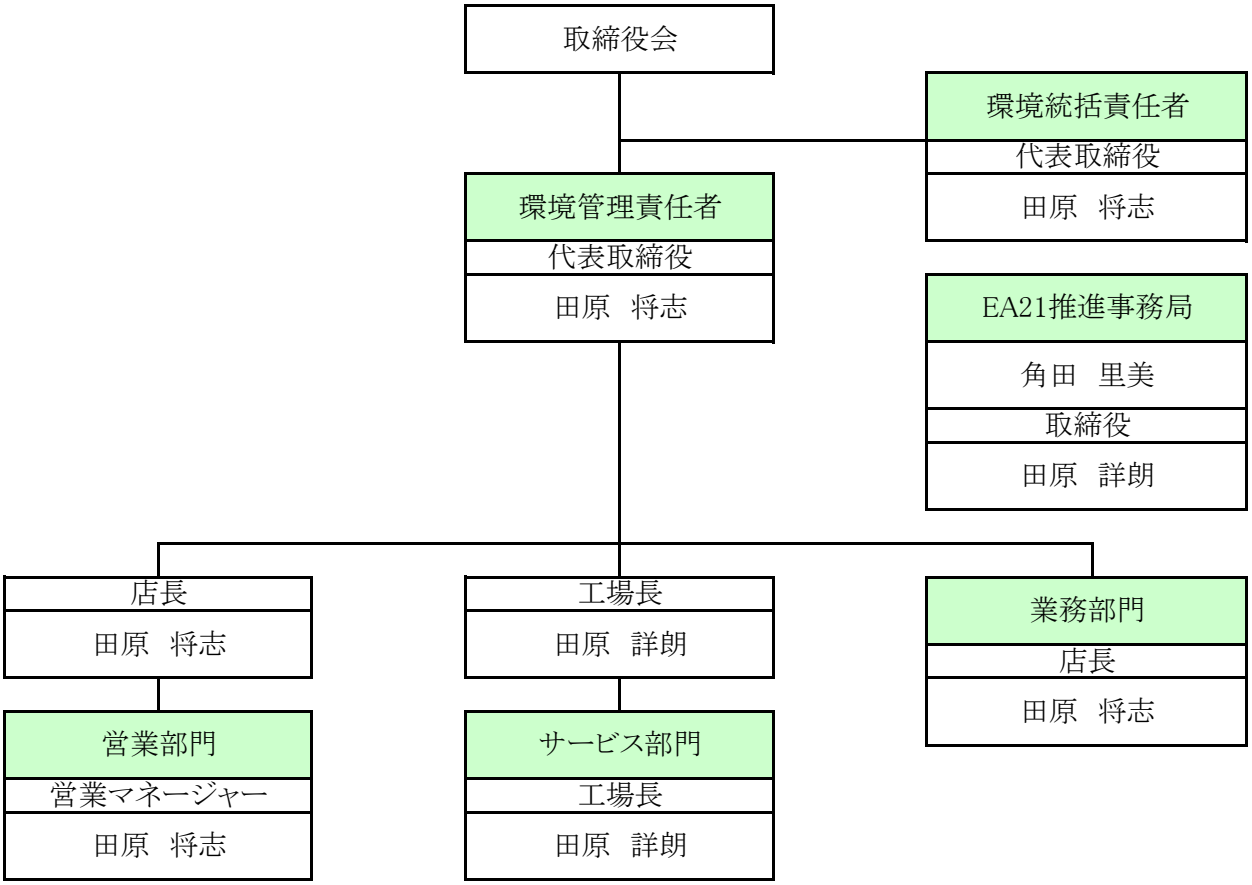
環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	代表取締役社長	田原　将志
EA21環境推進事務局	サービス工場担当	田原　詳朗
	ショールーム担当	角田　里美
連絡先	TEL　：0854－82－5688 FAX：：0854－82－0337 URL　：http://www.maz-oda.com/ e-mai　：maz-oda@mazda-autozam.jp	



実施体制

2023年4月1日



担当者	役割、責任及び権限
環境統括責任者 ＜会長＞	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 ＜役員・営業・業務/ サービス部門長＞	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する （※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲） ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する ・環境取り組みの指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ
部門長	全社の環境取り組みを推進する ・担当部門の環境取り組みの責任者
全社員	積極的にEA21活動に参加する

3 環境経営方針

基本理念

Vision　私たちはお客様に安心、快適な移動空間を提供します。

Misson　お車に係わる最適な商品の販売、確実なサービスを通じ、お客様の期待を上回る感動を与え続けます。

Value　お客様第一主義をモットーに創造性を持って誠実な仕事を遂行します。効率、生産性を上げ、地元経済に貢献します。地域の豊かな自然、文化を尊重し、地域環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

当社における事業活動と経営における課題とチャンスを踏まえ、以下の通り行動指針を定めます。

１　環境に関する法規制を遵守します。

２　限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。

３　使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。

４　循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再生利用活動を推進します。

５　環境経営方針を定め、継続的な環境改善活動を実践します。

６　環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供をします。

７　全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

制定　2011年　4月　1日
改定　2023年　4月　1日
株式会社マツダオートザム島根大田
代表取締役　　田原　将志

4 環境経営目標

＜マツダオートザム大田の環境経営目標と取り組み方針＞

自動車を扱う企業の責任として、「電気使用量」「自動車燃料使用量」を削減し、「SKYACTV搭載機種」「ECOオイル」の拡販を行い、環境に負荷をかけない企業を目指す。

1. 環境負荷等の現状

環境への負荷等		単位	2020年度 (2020/4～2021/3)	2021年度 (2021/4～2022/3)	2022年度 (2022/4～2023/3)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素(総量)	kg-CO_2	35,713	36,595	36,291
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1,241	183	2,227
	産業廃棄物	kg	7,433	7,549	11,250
水使用量	上水	m^3	359	383	337
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	37	39	51
	ECOオイル入庫台数	台	530	741	795

2. 環境経営目標(中期)

当社は毎年、以下の項目について削減目標を掲げ、環境改善活動を推進します。

環境経営目標項目		単位	基準値 (2022年度)	目　標 2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減	購入電力+自動車燃料	kg-CO2	36,374	36,010	35,647	35,283
	購入電力	kg-CO_2	18,079	17,898	17,717	17,537
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	自動車燃料	kg-CO_2	18,295	18,112	17,929	17,746
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	kg	2,227	2,205	2,182	2,160
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	産業廃棄物	kg	11,250	11,138	11,025	10,913
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
水使用量の削減	上水	m^3	337	334	330	327
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	51	56	61	66
			増加率	10%	20%	30%
	ECOオイル入庫台数	台	795	835	875	914
			増加率	5%	10%	15%
	ECOﾊﾞｯﾃﾘｰ販売台数	台	159	175	191	207
			増加率	10%	20%	30%
	ECOタイヤ販売台数	本	173	182	190	199
			増加率	5%	10%	15%

※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数(中国電力 令和元年度):0.000585t-C02/kWh

※トルエン、キシレンの使用はあるがスプレー缶であり、使用量も少量であるため適正な管理をすることで環境経営目標、環境経営計画とする。具体的にはトルエン、キシレン等のSDS(安全データシート)を現場に添付して作業員はその内容を周知徹底する。さらに対象物の使用量等を把握して適正な管理をする。

※「SKYACTIV」はマツダ(株)が生産する低燃費エンジンを搭載した車両

5 環境経営計画

2023/04～2024/03

■二酸化炭素排出量(購入電力)削減

①電気メーターの確認・記録
1回/月の電気メーターの確認して社員に公表する【田原弘】

②サービス工場 昼休み消灯の励行
週5日以上の消灯確認を行う【渡辺】

③ショールーム、事務所の適正な温度管理
2回/日の確認を行う【角田】

④ロールカーテンの適正使用
2回/日の確認を行う【岩崎】

■二酸化炭素排出量(化石燃料使用量)削減

①燃料代の確認・記録
1回/月燃料使用量を集計し社員に公表する【角田】

②代車誓約書適正運用満タン返却の励行
誓約書のサインいただく(目標70%以上)【田原将】

③代車記録簿適正運用の啓発
記録簿の記載100%を行う(目標80%以上)【田原将】

■廃棄物排出量(一般廃棄物)削減

①紙廃棄量の確認・記録
1回/月紙廃棄量数の確認し社員に公表する【田原脩】

②コピー使用枚数の削減・記録
1回/月コピー使用枚数の啓示を行い数量の記録を行う【田原弘】

③段ボール置き場の整理・記録
リサイクル業者への連絡引き渡し数量の記録を行う【石橋】

④空き缶の整理・記録
CS勉強会時1回/月、社員への啓発を行い数量の記録を行う【石橋】

⑤ペットボトルの整理・記録
CS勉強会時1回/月、社員への啓発を行い数量の記録を行う【石橋】

廃タイヤ保管庫

リサイクル棟

■廃棄物排出量(産業廃棄物)削減

①産業廃棄物排出量の確認、記録、委託業者の書類管理
1回/月数量の記録、委託業者の確認【角田】

②汚泥処理記録
適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【田原脩】

③金属くずの管理、記録
適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【田原脩】

④廃タイヤの適正管理、記録
適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【田原脩】

■水使用量削減

①水使用量の確認・記録
1回/月数量の記録【田原弘】

②全般的な節水活動
1回/月節水の啓発を行う。【田原弘】

■製品およびサービスにおける環境配慮

①パックdeメンテ加入の促進
1回/月　購入量の確認をする【岩崎】

②ECOタイヤ販売拡販
お客様にECOタイヤの販促を行う【川上】

③ECOバッテリー販売拡販
お客様にECOﾊﾞｯﾃﾘｰの販促を行う【渡辺】

④SKYプランの拡販によるSKYACTIV車の販売
1回/月SKYプランによる販売を行う【杉本】

※パックDEメンテとはECOオイル、自動車法定点検等をパッケージしたマツダのメンテナンス商品名

※SKYプランとSKYACTIV車販売のためのクレジット商品

1. 環境経営目標の達成状況

実施期間(2023年04月～2024年03月)の環境実績は次の通り

環境経営目標項目		単位	2022年度実績	期間中の目標値	実績			
					2023年度	目標達成率%	前年比	評価
二酸化炭素排出量の削減	購入電力+自動車燃料	kg-CO_2	36,374	36,010	33,275	108.2	91.5	G
	購入電力	kg-CO_2	18,079	17,898	16,819	106.4	93.0	G
	自動車燃料	kg-CO_2	18,295	18,112	16,456	110.1	89.9	G
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	kg	2,227	2,205	2,379	92.7	106.8	Y
	産業廃棄物	kg	11,250	11,138	9,664	115.3	85.9	G
水使用量の削減	上水	m^3	337	334	272	122.8	80.7	G
部品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	51	56	39	69.6	76.5	R
	ECOオイル入庫台数	台	795	835	805	96.4	101.3	Y
	ECOバッテリー販売台数	台	159	175	131	74.9	82.4	R
	ECOタイヤ販売本数	本	173	182	257	141.2	148.6	G

評価･･･二酸化炭素排出量の多くの割合を占める電力使用で目標、前年ともに過達成(目標達成率106.4%)
自動車燃料使用で目標、前年ともに達成(目標達成率110.1%)

※購入電力の二酸化炭素排出係数(中国電力 令和元年度):0.000585t-C02/kWh

※達成状況欄の「G」は目標達成率100%、「Y」は目標達成率90%以上、「R」は目標達成率90%未満を示します。

※2023年度二酸化炭素排出総量(＝購入電力+自動車燃料+灯油)は33573.70kg-CO_2である。

2. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

■1－二酸化炭素排出量の削減

①購入電力使用量　　目標達成率　108.2%／前年比　91.5%

	評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
G	◆ サービス工場　昼休み消灯の励行 主に昼休み不要な照明の消灯、残業時間短縮による節電、閉店後の不要な照明の消灯等活動した。	サービス工場については引き続き消灯確認を行います。
	◆ ショールーム、事務所の適正な温度管理(冷房28℃程度、暖房20℃程度) 2回/日以上の確認としていた、朝の涼しさ、西日の加減等も考慮してこまめに行い適正な温度を維持できた。	こまめな温度管理が購入電力削減に繋がり目標をクリアできた。引き続き活動の継続を行います。
	◆ ショールーム、ロールカーテンの適正利用 4月～11月　2回/日の確認を行った、温度管理同様こまめに行い適正なショールーム管理ができた。	こまめな温度管理がロールカーテンを適切に利用することになり夏季の温度管理に大きく寄与しているので引き続き活動を行う。

②自動車燃料使用量　　目標達成率　110.1%/前年比　89.9%

G	◆ 代車誓約書適正運用満タン返却の励行 お客様に代車使用の説明誓約書の記入により満タン返却の徹底を継続中。取得率は55.8%から60.6%と上昇したが目標の80%には及んでいない。	引き続き自動車保険ﾚﾝﾀｶｰ特約付帯率を高め代車のﾚﾝﾀｶｰ比率を高めるよう務めていく。車検時同意書と誓約書同時取得に努める。
	◆ 代車記録簿適正運用の啓発 代車使用の縮減を図るため予約来店の割合を増やす努力を行ったが一般整備時間予約来店率71.7%→71.5%となった。車検の時間予約来店も9ﾎﾟｲﾝﾄ近く改善した。ショールームで確実な整備受け入れを行いたい。	代車適正運用の為にもショールーム引き渡しの件数増に努力する。

■2－廃棄物排出量の削減		
①一般廃棄物の削減　　目標達成率92.7%／前年比106.8%増加		
Y	◆ コピー使用枚数の削減 コーピー削減の啓発を継続的に行い資料の電子化、登録書類電子化等で昨年の34356枚→29195枚と削減できた。	電子帳簿保存、登録書類のOSS化を今以上に推進する。
	◆ 段ボール置場の整理記録 小型段ボールを箱詰めして収納することで体積減に努めている。	引き続き適正なｽﾀ管、管理に努める。
	◆ 空き缶、ペットボトルの管理 空き缶の資源化、ペットボトルのリサイクル等で削減を心がけている。	引き続き適正なｽﾀ管、管理に努める。
②産業廃棄物の削減　　目標達成率115.3%／前年比　85.9%		
G	◆ 産業廃棄物排出量の確認、記録、委託業者の書類管理 委託業者との契約書の適正な管理に努めている	1回/月 書類の適正管理に努める。
	◆ 汚泥処理記録 汚泥については溜桝の清掃にとどまり廃棄物としての排出はなし。	1回/年の分離層清掃を行う。
	◆ 金属屑の管理記録 1回/3か月の回収に努めている。	記録、リサイクル棟の管理を行う。
	◆ 廃タイヤの適正管理 早期回収依頼を心がけている。	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ時廃タイヤ増に伴う対策を考えたい。（タイヤ保管庫等を代用するなど）
■3－水使用量の削減　　目標達成率　122.8%%／前年比　80.7%		
G	◆ 全般的な節水活動 節水の意識が定着している、生活排水処理施設の排水量も計上し、さらなる節水意識向上に努めている。	作業逼迫の際は洗車の外注を使用し、節水と作業効率化に努める。
■4－製品およびサービスにおける環境配慮		
①SKYACTIV拡販　　目標値達成率69.6%／前年比　76.5%		
R	◆ SKYACTIV車の販売促進 軽自動車たて続けの新型車導入、SKYACTIV新商品先送り等で販売台数が低迷している。	SKYﾌﾟﾗﾝの販売、ランコス提案で反転したい。
②ECOオイルの拡販　　目標達成率　96.4%／前年比　101.3%		
Y	◆ ECOオイルの販売促進 目標は未達だったが前年越え、パックDEメンテの販売が伸びなかった。	パックDEメンテの販売が実績に直結する。安定的な販売増に繋げたい。 ※ﾊﾟｯｸDEﾒﾝﾃとはメンテナンスパックの名称
③ECOバッテリーの拡販　　目標値達成率　74.9%／前年比　82.4%		
R	◆ ECOバッテリーの販売促進 2年連続で前年、目標割れ。後半は目標を上回ったが部品の値上げ等で年間通じて伸び悩んだ、車検事前見積もりを徹底したい。	車検事前見積もりが重要なので早めのアプローチで車検時のバッテリー拡販に努める。
④ECOタイヤの拡販　　目標値達成率　141.2%／前年比　148.6%		
G	◆ ECOタイヤの販売促進 前年の価格改定に伴う需要減の反動もあり、2～4Qで過達、キャンペーンに向けてストック収集にあたることで実績につながった。	ECOタイヤも車検事前見積もりが重要なので早めのアプローチで車検時の拡販、およびキャンペーンに向けてのストック収集を行う。

※環境経営目標の基準は前年度とし、環境経営目標ごとに削減増加率を定める。

8 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の評価

環境関連法規	要求事項	評価の結果
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	遵守
浄化槽法	浄化槽設置の届け出　法定点検の実施	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱所届出	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施　記録の保存	遵守

2. 違反、訴訟の有無

環境関連法規制への違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、訴訟等についても、1件もありませんでした。

9 代表者による全体の評価及び見直し

対象事業所	マツダオートザム大田
活動期間	2023年04月～2024年03月

作成者	田原将志

見直し関連情報		項目	確認	評価・コメント
	1	エコアクション21文書	○実施 □未実施	特になし
	2	環境経営目標及び目標達成状況	○実施 □未実施	省エネルギーすべての分野でCO_2排出量削減目標を達成できています。省資源分野も計画を履行していますが一般廃棄物が増加したのは次年度の課題としてください。ECO商品販売は値原材料高の影響を受け厳しい環境ではあるが次年度以降も目標達成に向け活動してください。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	○実施 □未実施	環境経営目標、特に省エネルギー分野は環境経営目計画を実行した結果と理解しています。省資源分野も計画を履行していますが一般廃棄物が増加したのは次年度の課題としてください。
	4	環境関連法令一覧表及び遵守状況	○実施 □未実施	すべて遵守されていた。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	○実施 □未実施	苦情等の事例なし。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○実施 □未実施	特になし
	7	取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	○実施 □未実施	自動車業界では型式認証制度の不正に問題に揺れ出荷停止となった商品による弊社への影響もあった。過度な円安は部品高、中古車の流通についても大きく影響が出ている。
	8	前回指示事項への取組結果	○実施 □未実施	個々の意識向上はあったが自分発信で問題解決に向けPDCAをまわせるような組織に進化することを期待します。

評価者	田原　将志	実施日	2024年6月30日

EA21を通じて多くの制度を作成した。このことが健康経営優良法人の認証、企業持続力強化計画策定、SDG‘s宣言等、弊社のCSR向上に大きく影響しています。コンプライアンス、お客様を重視する地方企業の模範となれるよう持続的な活動を継続してください。

代表者による全体評価・見直し		見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	□有 ○無	
	2	環境経営目標	□有 ○無	
	3	環境経営計画・取組項目	□有 ○無	
	4	実施体制	□有 ○無	
	5	その他のシステム要素	□有 ○無	
	6	その他（外部への対応）	□有 ○無	